

宇治市第6次総合計画 第1期中期計画(案)

【まちづくりの方向】

子育て・子育て支援が充実したまち
誰もがいきいきと暮らせるまち

2021（令和3）年12月4日

目 次

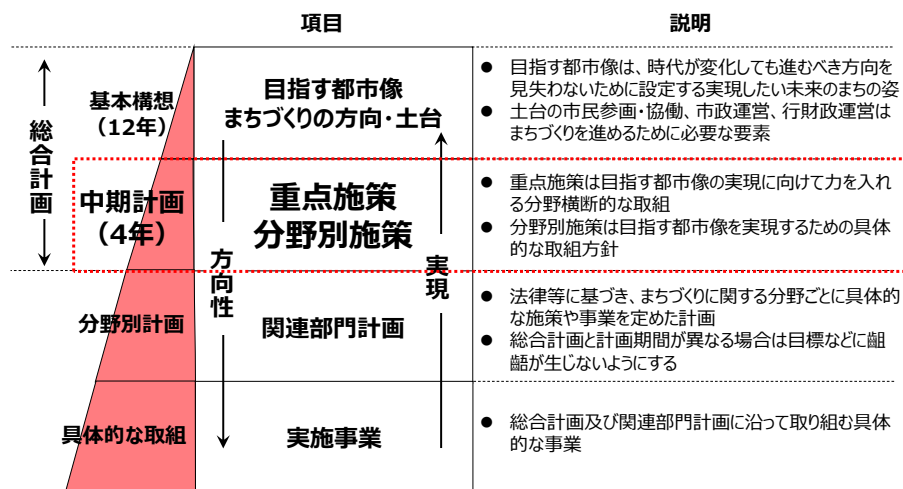
中期計画の概要.....	1
各分野の目標と目標達成 に向けた取組.....	3
【まちづくりの方向2】 子育て・子育て支援が充実したまち	7
分野6 子育て世代の夢と希望を叶える子育て環境の充実	8
分野7 子どもの成長・発達への総合的な支援	10
分野8 確かな学力と豊かな人間性をはぐくむ学校教育	12
分野9 豊かな教育を推進するための学校環境整備	14
分野10 家庭・学校・地域の連携・協働促進	16
【まちづくりの方向3】 誰もがいきいきと暮らせるまち	19
分野11 市民主体の地域づくりの推進	20
分野12 ともに支え合う地域共生社会の実現	24
分野13 地域での健康づくりの推進と年金・医療保険制度の充実	26
分野14 生きがいのある健康長寿社会の実現	30
分野15 障害者が暮らしやすいまちづくりの推進	32
分野16 市民が学び合う生涯学習社会の進展	34
分野17 スポーツを通じたまちづくりの推進	36
分野18 個人を尊重する人権教育・啓発の推進	38
分野19 性別に関わらず活躍できる男女共同参画の推進	40
分野20 国際交流の推進と平和への貢献	42

中期計画の概要

中期計画

中期計画は、2022 年度から 2025 年度までの 4 年間を計画期間とし、31 の分野で構成しています。基本構想で掲げている目指す都市像「一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治」を実現するため、基本構想で定める 5 つのまちづくりの方向をもとに 31 の分野の取組を進めます。

中期計画の位置づけ



分野の内容

31 の分野について、市民の皆さまにわかりやすく伝えるため、以下の内容を明示しています。

項目	内容
分野の目標（達成したい姿）	4 年後に達成したい各分野の目標（達成したい姿）を記載
成果指標	4 年後に達成したい分野の目標（達成したい姿）の達成状況を確認するための数値目標を設定
現状と課題	各分野を取り巻く環境やこれまでの市の取組、優先的に解決すべき主な課題を記載
目標達成に向けた主な取組	今後 4 年間で優先的に実施する主な取組を記載
関連する部門計画	各分野の方向性をより具体的に示している部門計画を記載
担当部署	各分野の担当部署を記載

※ 各分野のページの見方は、後述の「各分野の目標と目標達成に向けた取組の見方」をご参照ください。

各分野の目標と目標達成 に向けた取組

各分野の目標と目標達成に向けた取組の見方

各分野の目標と目標達成に向けた取組は、「1. 分野の目標（達成したい目標）」「2. 成果指標」「3. 現状と課題」「4. 目標達成に向けた主な取組」「5. 関連する部門計画」の5つの項目で構成しています。

分野 2

分野の名称
を表しています

犯罪が起こりにくい地域づくりの推進

1. 分野の目標(達成したい姿)

市民一人ひとりが「地域の安全は地域で守る」という意識を持ち、防犯活動を引き続き推進するとともに、犯罪被害者等に対する支援や再犯防止に取り組む、「地域防犯力の維持・継続」と「誰一人取り残さない社会の実現」を目指します。また、消費者を取り巻く環境が複雑化するなか、自ら考え行動する主体的な消費者の育成を通じて消費生活の充実に取り組みます。

4 年後に達成したい各分野
の目標を設定しています

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	安全管理団体登録者数	1,190 人	1,200 人
2	「社会を明るくする運動」への参加者数	8,258 人	8,500 人
3	「ホンデリング」の回収箱の設置箇所数	1 箇所	15 箇所
4	消費生活相談件数		
5	出前講座実施回数		

4 年後に達成したい各分野の目標の達成状況を
確認するための数値目標を設定しています

3. 現状と課題

近年の刑法犯認知件数の減少は警察力の充実とともに、安全管理団体に代表される防犯ボランティアの積極的な活動等による防犯活動の活性化や防犯カメラの設置など、社会が一体となって防犯対策に取り組んでいることが相乗効果を発揮しているものと考えられます。しかしながら、高齢化等による地域防犯活動メンバーの減少や固定化等の課題を抱えており、様々な世代の防犯活動への参加や多様な層の横断的かつ縦断的な連携により、取り組まれています。また、インターネットを介した防犯情報の伝達や、社会情勢の変化にあわせた防犯体制づくりや地域における見守りの強化など、市民一人ひとりの防犯意識を高めるとともに、地域防犯力を高めていく必要があります。

各分野の現状と課題を整理しています

4. 目標達成に向けた主な取組

No	取組名
1	防犯意識の醸成と地域防犯力の向上 安全管理団体や防犯ボランティア、学校など様々な主体による自主防犯活動の促進や防犯環境の整備により、これまで積み重ねてきた地域防犯力を維持・継続するための取組を推進します。
2	再犯防止及び被害者支援のための地域づくり 犯罪等をした人が罪を繰り返すことなく、再び社会の一員として立ち直ることができるよう、市民の理解を醸成し、地域づくりに取り組みます。また、犯罪被害者等が置かれた状況が十分理解され、犯罪被害者等が孤立することなく、権利利益が保護されるよう理解の促進を図ります。
3	消費生活相談体制の充実 相談内容の広範化・複雑化・高度化に対応するため、相談員のスキルアップに努めるとともに、各種専門家及び関係機関と連携した相談等の体制を充実させ、消費者被害の防止に努めます。
4	情報発信と啓発活動の推進 消費者問題に関する自主的学習を促進するとともに、事業者等に対する啓発活動や情報提供や啓発活動を行います。

4年後の達成したい各分野の目標を達成するため、今後4年間で優先的に実施する主な取組を記載しています

各分野の方向性をより具体的に示している部門計画を記載しています

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宇治市第4次防犯推進計画	2021年度～2025年度	総務部総務課

担当部署	総務部総務課、産業地域振興部自治振興課
------	---------------------

各分野の担当部署を記載しています

【まちづくりの方向 2】
子育て・子育て支援が充実したまち

分野 6

子育て世代の夢と希望を叶える子育て環境の充実

1. 分野の目標(達成したい姿)

これからの宇治市を支える子どもたちの成長を地域とともに支え、未来に夢と希望のもてるまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	保育所・認定こども園の待機児童数(各年4月1日)※国定義後の値	0人	0人
2	保育所・認定こども園の待機児童数(各年4月1日) ※国定義前待機児童数から地域型保育事業(小規模・家庭的保育事業)利用者を除く	54人	↘
3	子育ての環境や支援への満足度(未就学児・小学生の保護者)	30.0%、22.6%(H30)	40.0%、30.0%
4	子育てをする上で気軽に相談できる人や場所がある(ある)割合(保護者の割合)	就学前児童 92.4% 小学生 87.9% 中高生等 84.3%	就学前児童 95.0% 小学生 90.0% 中高生等 85.0%

3. 現状と課題

共働き世帯やひとり親世帯の増加、地域でのつながりの希薄化などにより、子育て支援に関するニーズが多様化しています。子育てに関する相談体制の充実や関係機関との連携強化など、妊娠、出産、産後、子育ての不安を解消し、安心して子どもを産み育てることができるよう体制整備の充実を行い、支援が必要な家庭に対し、医療・保健・福祉・教育等の関係機関と連携した切れ目のない支援を充実する必要があります。また、乳幼児期からの子どもの発達や学習の連続性を重視し、学ぶ意欲や自立心を高める「生きる力」を育むため、幼稚園・保育所での乳幼児期の教育・保育の充実に取り組む必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容	
1.待機児童対策の推進	引き続き保育の質を保ちながら家庭的保育事業及び小規模保育事業等を実施するなど、多様な保育サービスの充実を図ります。
2.民間保育所・認定こども園への支援	多様化する保育ニーズに対応するため、民間保育所・認定こども園の一時預かり保育事業や病児保育事業(体調不良児対応型)などの保育サービスを提供するとともに、民間保育所・認定こども園への支援を行います。
3.保育所・認定こども園の安全対策	アレルギーのある児童にアレルギーを含まない給食の提供を可能な範囲で実施するなど安全な給食を提供します。また、保護者が安心して子どもを預けられるよう地域と協力した防犯対策や老朽化への対応など保育環境の整備に取り組みます。
4.多様な保育ニーズに対応できる環境づくり	安心して子育てができるよう、病児保育やショートステイ、ファミリー・サポート・センター事業等の充実に努め、多様な保育ニーズに応えられる環境づくりに取り組みます。
5.児童虐待等への対応策の強化	児童虐待の未然防止・早期発見に努めるとともに、ヤングケアラーなど支援が必要な家庭への相談・支援に取り組みます。
6.仕事と子育てを両立できる環境づくり	共働き家庭が安心して子どもを預けられるよう、また、放課後児童が過ごしやすい環境となるよう、学童保育の定員拡大等に取り組みます。
7.乳幼児期の教育・保育の充実	社会全体で子どもの育ちを支え、子ども自身が持つ力を伸ばすために、 <u>乳幼児期からの子どもの発達や学習の連続性を重視し、学ぶ意欲や自尊心を高める「生きる力」を育むとともに、配慮が必要な児童に対する支援の充実や保幼小連携の促進など乳幼児期の教育・保育の一層の充実に取り組みます。</u>

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	第2期宇治市子ども・子育て支援事業計画	2020年度～2024年度	福祉こども部 こども福祉課
2	第2次宇治市教育振興基本計画	2022年度～2033年度	教育部 教育総務課

担当部署	福祉こども部保育支援課、福祉こども部こども福祉課、教育部学校教育課、教育部教育支援課
------	--

分野 7

子どもの成長・発達への総合的な支援

1. 分野の目標（達成したい姿）

子どもの健やかな成長を支えるため、妊娠から出産・子育てまで切れ目のない総合的な子育て支援が充実したまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
1	乳幼児健康診査受診率	94.3～95.3%	99.0%

3. 現状と課題

乳幼児健診は子どもの成長・発達の確認が重要であり、乳幼児健診の結果を適切に療育や発達への支援につなげる必要があります。しかし、様々な理由で受診できない方も一定数おられることから、未受診の方への支援も充実するなどにより、すべての子どもの成長・発達への総合的な支援に努める必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容
1.母子保健対策の推進 妊娠期から地区担当保健師が状況把握に努めるとともに、出産後も乳幼児健診未受診者に対する未受診理由の把握や、関係機関と連携した支援に取り組みます。
2.相談・支援体制の充実 <u>妊婦の全数面談や乳児家庭の全数訪問、地区担当保健師による対応などの相談体制を充実</u> するとともに、育児支援のない家庭に対して必要な支援を実施します。
3.適切な療育・発達への支援 発達上支援が必要な子どもの早期発見・早期療育を進めるとともに、 <u>関係機関と連携し、就学前・就学後の継続した相談等の支援</u> に取り組みます。
4.子育て家庭の経済的支援の充実 子育て家庭の経済的負担の軽減を行うとともに、児童の健康の保持及び増進を図るため、京都府制度にあわせ、また、宇治市独自制度により医療費等の自己負担の軽減、免除を行うとともに、京都府に制度の拡充について要望を行います。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	第2期宇治市子ども・子育て支援事業計画	2020年度～2024年度	福祉こども部 こども福祉課
2	宇治市健康づくり・食育推進計画	2015年度～2024年度	健康長寿部 健康づくり推進課

担当部署	福祉こども部保健推進課、健康長寿部年金医療課
------	------------------------

分野 8

確かな学力と豊かな人間性をはぐくむ学校教育

1. 分野の目標(達成したい姿)

幼児期より校種を超えた連携と、小中一貫教育を柱として、個別最適な学びと協働的な学びの実現に取り組み、確かな学力と豊かな人間性をはぐくむ教育を目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
1	全国学力・学習状況調査【小 6】の四分位 (ABCD層)におけるC層の割合	国 19.7(21.3%) 算 29.4(28.6%)	全国を下回る
2	全国学力・学習状況調査【小 6】の四分位 (ABCD層)におけるD層の割合	国 32.7(29.0%) 算 31.2(28.7%)	全国を下回る
3	全国学力・学習状況調査【中 3】の四分位 (ABCD層)におけるC層の割合	国 25.3(24.0%) 数 35.7(34.5%)	全国を下回る
4	全国学力・学習状況調査【中 3】の四分位 (ABCD層)におけるD層の割合	国 31.8(27.5%) 数 30.3(25.1%)	全国を下回る
5	学校の授業時間以外の勉強時間が平日1日当たり30分に満たない子どもの割合	小 6:19.9% 中 3:15.9%	↘
6	問題行動実人数出現率	小:2.18% 中:4.31%	↘
7	不登校児童生徒出現率	小:0.98(0.96%) 中:2.78(3.90%)	京都府平均以下

※No.1～4 指標名のABCD層は、正当数の高い順にA層～D層に均等分類したもの

※No.1～4 現状値の()内の数値は全国の平均、No.7 現状値の()内の数値は京都府の平均

※No.1～5 現状値の数値は R3

3. 現状と課題

少子・高齢化の進行、家族規模の縮小や就労形態・ライフスタイルの多様化、高度情報化の進展・技術革新など学校教育を取り巻く環境が変化し、今後、「VUCA」(予測困難な状況)が急速に進展する世界に直面する中で、想定されていない困難に直面した際に、解決策を見出していく力、自己の考えを大切にするとともに、他者と協調しながら新しい価値を生み出していく力を、子どもたちが身に付ける必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容
1.小中一貫教育の推進 <u>義務教育 9 年間を通した系統的・継続的な教育実践を基盤として、個別最適な学びと協働的な学びの実現に取り組み、児童生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、新しい時代を生きるために求められる資質・能力の育成を目指します。</u>
2.生涯の学びの基盤となる幼児教育・保育の推進 <u>小学校教育への緊密な連携・円滑な接続を推進するとともに、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う、幼児教育・保育の質向上に努めます。</u>
3.教職員の教育力の向上と学校現場への支援強化 教職員が、社会の変化に対応した新しい教育的ニーズや質の高い教育に対応できるよう、京都府教育委員会と連携して教職員研修を充実します。また、生徒指導やいじめなどの問題解決のため、学校現場への指導・助言やサポート体制を強化します。
4.不登校児童・生徒への対応 <u>不登校児童生徒の社会的な自立のため、Uji ふれあい教室を中核とし、個々の児童生徒の状況に応じた個別支援、小集団活動、アウトリーチ(家庭への訪問)など必要な支援の充実に努めるとともに、教育・医療・福祉など関係機関との連携を図り、各学校での支援の充実を図ります。</u>
5.危機管理体制の継続的な整備 児童生徒の生命・身体の尊重を第一に考えながら、学校における組織的な対応や関係機関との連携により、事件・事故等の多様な危機から子どもを守る危機管理体制の継続的な整備に努めます。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	第2次宇治市教育振興基本計画	2022年度～2033年度	教育部 教育総務課
2	学校施設長寿命化計画	2021年度～2060年度	教育部 学校管理課

担当部署	教育部教育総務課、教育部学校教育課、教育部教育支援課
------	----------------------------

分野 9

豊かな教育を推進するための学校環境整備

1. 分野の目標（達成したい姿）

児童・生徒が学び・成長するための教育環境が整備され、安心して学校生活を送ることができるまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
1	長寿命化改修(屋上改修・外壁補修等)の実施	0 校	3 校
2	体育館等非構造部材耐震改修率	34.1%	100%
3	中学校給食の実施	0 校	全校
4	学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う割合(小 6)	－	100%
5	学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う割合(中 3)	－	100%

3. 現状と課題

学校施設の多くが建築後 30 年以上経過している中、児童・生徒の安全を守り、学習に集中できる環境を構築するため、より効果的・計画的な改修や改築の実施が求められています。また、新型コロナウイルス感染症等による臨時休校時の学習機会の保障や授業改善のツールとして ICT 機器を効果的に利活用できる環境整備を進める必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容
1.学校施設の適切な管理 児童・生徒の安全を確保し、円滑な学習を進めるため、学校施設の維持・修繕を行うとともに、体育館等の非構造部材の耐震化や長寿命化改修等を進めます。
2.学校給食の実施 心身の健全な発達のため、栄養バランスの取れた完全給食を全員喫食により実施してきた小学校での取組を、中学校でも実施していくことを目指し、給食センターの建設を進めます。
3.教育における ICT 環境の推進 <u>個別最適な学びを実現させるとともに、校務の効率化を図るため、ICT 機器の整備をはじめ、デジタルコンテンツ等の充実や ICT 活用能力の向上のための教員の支援など、ICT を利活用できる環境を推進します。</u>

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	第2次宇治市教育振興基本計画	2022年度～2033年度	教育部 教育総務課
2	宇治市学校施設長寿命化計画	2021年度～2060年度	教育部 学校管理課

担当部署	教育部学校管理課、教育部学校教育課
------	-------------------

分野 10

家庭・学校・地域の連携・協働促進

1. 分野の目標（達成したい姿）

家庭・学校・地域が連携・協働して、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
1	学校運営協議会を設置した学校(コミュニティ・スクール)数	0 校	全校
2	地域学校協働活動(放課後子ども教室を含む)に取り組む学校数	3 校	全校

3. 現状と課題

少子・高齢化により地域のつながりの希薄化等が進む一方、学校での児童・生徒が抱える課題は複雑化・多様化しています。このような中で、家庭・学校・地域が連携・協働した社会総掛かりの教育を推進するため、地域と一体になって子どもたちをはぐくむ、学校運営協議会制度と地域学校協働活動の一体的な推進が必要です。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容	
1.コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進	保護者や地域の方が学校運営の基本方針や目指す子ども像を共有し、よりよい教育の実現に取り組み、地域総掛かりで子どもの成長を支える仕組みとなる学校運営協議会を設置します。
2.地域学校協働活動の実施	幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域学校活動推進員を委嘱し、地域と学校が連携・協働して行う様々な地域学校活動を実施します。
3.学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進	学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進することで、 <u>より良い学校教育を通じてより良い社会をつくるという目標を学校と社会が共有し、家庭・学校・地域がそれぞれの強みを活かして連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちにはぐくみます。</u>
4.青少年健全育成の推進	青少年の健全な育成のための取組を推進するため、青少年健全育成協議会、少年補導委員会、連合育友会などの各種関係団体と連携します。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	第2次宇治市教育振興基本計画	2022年度～2033年度	教育部 教育総務課
2	第2期宇治市子ども・子育て支援事業計画	2020年度～2024年度	福祉こども部 こども福祉課

担当部署	教育部教育支援課
------	----------

【まちづくりの方向3】
誰もがいきいきと暮らせるまち

分野 11

市民主体の地域づくりの推進

1. 分野の目標（達成したい姿）

少子高齢社会の進行や価値観の多様化などの課題に対応し、主体的な地域活動の推進と様々な分野における活動団体やNPOなどのテーマ型市民組織、事業者等との協働により地域や市民が活性化しているまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	地域コミュニティ活性化意見交換会の実施	70 団体	261 団体

3. 現状と課題

人口減少や少子高齢社会、価値観の多様化、地域に対する関心の希薄化などが進む中で、町内会・自治会をはじめとする地域活動団体等では、加入率の低下や担い手不足といった課題に直面しています。今後は、地域で活躍する市民を支援するとともに、世代や地域、団体の枠を超えて協力し合える仕組みづくりが求められています。また、市との連携による取組を強化していくことも必要です。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容	
1.地域活動の活性化の促進	地域ニーズを把握し、それぞれの地域に応じた主体的なコミュニティ活動を促進するとともに、市内全地域への波及を目的として活発に展開される地域活動事例を様々な媒体により情報提供に取り組みます。また、町内会・自治会とNPOなどが接点を持つなど、 <u>事業者等を含めて多様な組織が相互に連携・協力できる仕組みづくりに取り組みます。</u>
2.多様な交流空間の創出	コミュニティセンターや集会所をはじめとする公共施設の利用促進に加え、店舗や事業所などの集える場所に、 <u>きっかけやつながり合える仕組みを備えた交流空間の創出に取り組みます。</u>
3.子育てや学校教育における連携・協働の推進	地域全体で子どもの学びや成長を支えることで、地域の活動が子どもの育ちにつながるだけでなく、 <u>子どもの成長とともに、地域全体が活性化する環境づくりに取り組みます。</u>
4.健康づくりを通じた連携・協働	生涯健康を目標として地域全体で健康づくりに取り組むことで、互いに支えあう持続可能な体制を構築し、健康づくりを通じて活気にあふれる地域づくりを進めます。
5.生涯学習及びスポーツ・文化を通じた交流・連携	地域の課題解決や市民の自立的な判断に必要な資料や情報を提供し、市民が学んだ成果を地域や社会に還元する仕組みをつくることで、人と人、人と地域がつながり、互いに支えあう環境づくりに取り組み、地域の持続的な発展につなげます。また、 <u>スポーツや文化活動などを通じて、地域内の交流だけでなく地域間の交流・連携を強化します。</u>
6.まちづくりにおける連携・協働	地域の特性を活かしたまちづくりを進めるため、行政、市民及び地域がともに、まちづくりという目標を共有することで、地域の一体感の醸成を図り、さらなる地域の活性化につなげます。また、産業振興や新たな産業の創出、地域特性を踏まえた移動手段を確保し、地域や地域間における移動の促進や交流・活性化につなげます。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宇治市地域コミュニティ再編計画	2019 年度～2048 年度	産業地域振興部 自治振興課

No	計画名	計画期間	担当部署
2	宇治市地域防災計画		危機管理室
3	第2期宇治市子ども・子育て支援事業計画	2020年度～2024年度	福祉こども部 こども福祉課
4	第2次宇治市教育振興基本計画	2022年度～2033年度	教育部 教育総務課
5	宇治市健康づくり・食育推進計画	2015年度～2024年度	健康長寿部 健康づくり推進課
6	宇治市子どもの読書活動推進計画(第三次推進計画)	2022年度～2033年度	教育部 生涯学習課
7	第2次図書館事業計画	2022年度～2025年度	教育委員会 中央図書館
8	宇治市スポーツ推進計画	2022年度～2033年度	産業地域振興部 文化スポーツ課
9	宇治市文化芸術振興基本計画	2022年度～2033年度	産業地域振興部 文化スポーツ課
10	宇治市産業戦略	2022年度～2025年度	産業地域振興部 産業振興課
11	宇治市都市計画マスタープラン	2022年度～2042年度	都市整備部 都市計画課

担当部署	産業地域振興部自治振興課、政策経営部経営戦略課 他
------	---------------------------

分野 12

ともに支え合う地域共生社会の実現

1. 分野の目標(達成したい姿)

世代や分野を超えてつながることで、市民や地域が抱える生活課題をみんなで解決できる仕組みをつくり、一人ひとりがお互いに認め合い、ともに支え合いながら、安心して暮らせるまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	宇治ボランティア活動センター登録者数	48 団体 1,055 人	50 団体 1,250 人
2	学区福祉委員数	1,382 人	1,400 人
3	就労支援を活用して就労した件数	71 人	120 人

3. 現状と課題

地域共生社会の実現のため、複雑・複合化する地域課題や生活困窮などの市民の生活課題に対し、必要な人に適切な支援が届くよう、関係団体等との連携を図り、包括的な支援体制の整備や地域の担い手確保の仕組みづくりなど、みんなで支え合う社会を構築する必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容
1.包括的支援体制の構築 <u>複雑・複合化している福祉ニーズや生活課題に対応できる相談支援体制を構築し、関係部署による庁内連携を進めるとともに、(福)宇治市社会福祉協議会等の関係団体との連携をより深め、支援体制を充実します。</u>
2.地域福祉を支える人材の育成 人と活動を結びつけるため、民生児童委員との連携や市民ボランティア活動の促進など、幅広い年代層の参加手法や活動への支援を行います。
3.地域のネットワークづくりの推進 多様な地域課題に対応する地域活動やネットワークづくり等への支援を推進します。また、拠点となる総合福祉会館を有効活用します。
4.生活困窮者への支援の充実 <u>厳しい経済・雇用状況下で職や住居の確保が困難な生活困窮者に対し、就労支援や住居確保給付金の支給を実施するなど、生活困窮者の自立の促進に努めます。</u>

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	第3期宇治市地域福祉計画	2022年度～2033年度	福祉こども部 地域福祉課
2	宇治市自殺対策計画	2020年度～2024年度	福祉こども部 地域福祉課

担当部署	福祉こども部地域福祉課、福祉こども部生活支援課
------	-------------------------

分野 13

地域での健康づくりの推進と年金・医療保険制度の充実

1. 分野の目標(達成したい姿)

全ての市民が心身の健康を保ち、生涯にわたって健康に過ごせるよう、主体的に健康づくりに取り組むことを支援するとともに、年金・各種医療保険制度を安定的に運営し、市民の理解を深めて誰もが安心して生活することができるまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	健康寿命	男性 80.32 (H28) 女性 83.91 (H28)	プラス 1 歳
2	特定健診受診率 がん検診受診率(胃・肺・大腸・乳・子宮)	特定健診 40.9%(R1) がん検診 1.7～14.0%(H30)	特定健診 49.9%(R5) がん検診 4.7～17.0%(R5)
3	健康づくり・食育アライアンス加入団体数	60 団体	100 団体
4	自分の健康のために心がけていることがある人の割合	青年期 57.4% 壮年前期 65.1% 壮年後期 72.2% 老年期 73.8%	青年期 60.0% 壮年前期 70.0% 壮年後期 80.0% 老年期 80.0%
5	特定保健指導実施率	18.2% (R1)	27.2% (R5)
6	国民健康保険料収納率(現年分)	95.22%	95.74%
7	国民健康保険の市町村別医療費地域差指数(全国平均=1.000)	1.006 (R1)	1.000 以下

3. 現状と課題

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、健康に対する意識が高まっています。市民一人ひとりのライフステージに応じた目標の達成や健康の重点課題の分析と改善に引き続き取り組むとともに、自主活動グループの支援など市民と地域、行政が一体となって市全体で健康づくりを進めていく必要があります。また、少子高齢化・医療の高度化に伴う医療費の増加も課題であり、被保険者の健康保持の増進、健康寿命の延伸・医療費の適正化のための保健事業拡充等、持続可能な制度運営が必要です。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容
1.生涯を通じた健康づくりの推進 誕生前から高齢期までの幅広いライフステージに応じた健康づくりのために、 <u>市全体、各圏域単位でのデータを活用した地域分析を行い、地域ごとの健康課題を明確にします</u> 。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施など、市民・地域・行政・関係機関が一体で切れ目のない保健医療体制を充実します。また、健康づくり・食育アライアンスを中心とした地域活動等で学ぶ機会を充実し、誰もが主体的に健康づくりに取り組めるよう支援します。
2.疾病予防や重症化予防の充実 健康寿命の延伸のため、分析した健康課題を活用し、市民自らが生活習慣の改善や、重度化を予防するための健康行動が継続できるよう京都府や地区医師会等の関係機関と連携して各種健(検)診や保健指導などを充実します。また、国民健康保険及び後期高齢者医療制度被保険者の健康の保持増進のため、壮年期における生活習慣病対策としての特定健康診査・特定保健指導や後期高齢者医療広域連合等と連携して高齢者の特性・課題を踏まえたフレイル対策としての健康診査等の保健事業を実施します
3.医療提供体制の強化と感染症対策の推進 地区医師会や京都府と連携し、災害時の医療体制の確保や在宅医療・介護連携の推進など地域に根ざした医療提供体制の充実を図ります。また、各種予防接種や感染症予防対策を推進します。
4.国民年金制度の周知・啓発及び制度的無年金者の救済 手続等に関する相談業務を充実させ、制度の周知・啓発に取り組みます。また、制度的無年金者を救済するため、在日外国人高齢者・在日外国人重度障害者に助成を行うとともに、国や関係機関へ制度の改善について要望を行います。

取組名及び取組内容
5.医療費等の負担軽減 京都府制度及び宇治市独自制度により、低所得世帯の高齢者や重度心身障害者の医療費等の自己負担の軽減、免除を行うとともに、京都府に制度の拡充について要望します。
6.持続可能な国民健康保険制度の実現 「京都府国民健康保険運営方針」を踏まえ、適正な保険料率の設定、保険給付の適正実施、保健事業の充実など、持続可能な国民健康保険制度の実現に向けて、京都府との役割分担のもと、制度運営を行います。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宇治市健康づくり・食育推進計画	2015 年度～2024 年度	健康長寿部 健康づくり推進課
2	第 3 期宇治市特定健康診査等実施計画	2018 年度～2023 年度	健康長寿部 健康づくり推進課 国民健康保険課
3	第 2 期宇治市子ども・子育て支援事業計画	2020 年度～2024 年度	福祉こども部 こども福祉課
4	宇治市高齢者保健福祉計画・第 8 期介護保険事業計画	2021 年度～2023 年度	健康長寿部 長寿生きがい課 介護保険課
5	宇治市新型インフルエンザ等対策行動計画	2016 年度～	健康長寿部 健康づくり推進課
6	宇治市新型インフルエンザ等発生時の業務継続計画		

担当部署	健康長寿部健康づくり推進課、健康長寿部年金医療課、健康長寿部国民健康保険課、健康長寿部介護保険課
------	--

分野 14

生きがいのある健康長寿社会の実現

1. 分野の目標（達成したい姿）

すべての高齢者が住み慣れた地域において、健やかに、生きがいをもって、安心して暮らすことができる地域社会を形成し、健康長寿日本一のまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
1	喜老会会員数	2,538 人	2,598 人
2	高齢者アカデミー卒業者数	118 人	193 人
3	老人福祉センターサークル協議会 加入者数	384 人	400 人
4	認知症あんしんサポーター養成講座 累計参加者数	19,043 人	23,000 人
5	地域密着型サービスの整備施設数	52 箇所	61 箇所
6	健康長寿サポーター登録者数	170 人	420 人

3. 現状と課題

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを実現できるよう、市民のニーズを捉え、より多くの高齢者が地域活動や社会参加を生きがいと感じられる取組を進めるとともに、介護予防や認知症の人にやさしいまちなど、地域においても高齢者を支える仕組みづくりを進める必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容	
1.高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進	高齢者が社会における役割を見出し、高齢者がそれぞれの力を発揮し地域の担い手となるように、活動の場の整備や学習、地域での交流機会の提供、地域資源の見える化に取り組みます。
2.高齢者福祉サービスの充実と家族への支援	高齢者の健康課題を把握し介護予防と連携した一体的な保健事業を実施します。また、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、利用者に適した高齢者福祉サービスをより充実させるとともに、家族の精神的及び経済的な負担を軽減します。
3.高齢者の権利擁護	虐待の防止・早期発見や適切な財産管理の支援などのため、虐待相談窓口や成年後見制度の普及啓発、関係機関との連携強化に取り組みます。
4.介護予防の推進	高齢者の健康保持・増進を図るため、行政と民間が連携し、介護予防教室の開催や相談体制の充実を図ります。
5.介護保険制度の適切な運営	安定したサービスの提供のため、介護保険制度の適切な運営に努めます。
6.宇治方式地域包括ケアシステムの推進	国が提唱する医療・介護・予防・生活支援・住まいが連携し一体的に提供していく仕組みに社会参画・生きがいを加えた「宇治方式地域包括ケアシステム」を推進するため、関係機関との連携を強化します。
7.「認知症の人にやさしいまち・うじ」の推進	認知症当事者とその家族の身体的、精神的負担の軽減を図るため、京都認知症総合センターや認知症カフェなどによる相談・支援体制を充実します。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宇治市高齢者保健福祉計画・第8期 介護保険事業計画	2021年度～2023年度	健康長寿部 長寿生きがい課 介護保険課

担当部署	健康長寿部長寿生きがい課、介護保険課
------	--------------------

分野 15

障害者が暮らしやすいまちづくりの推進

1. 分野の目標（達成したい姿）

障害のある人もない人もみんなが住み慣れた地域で、お互いに人格と個性を尊重し合いながら暮らせるまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
1	訪問系サービスの利用量(各年度 3 月分)	19,036 時間	42,000 時間
2	日中活動系サービスの利用量(各年度 3 月分)	20,388 日	24,000 日
3	計画相談支援の利用人数(各年度 3 月分)	1,065 人	1,500 人

3. 現状と課題

障害者の高齢化が進むなど、障害者の生活における不自由さや悩みが複雑化・深刻化しているため、将来を見据えた生活全般に関する相談支援体制の充実等、障害者の日常生活を支えることができる体制を整備する必要があります。また、障害者を支える家族への支援や市民一人ひとりへの障害に対する正しい理解の啓発を進めていく必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容
1.地域生活を支援するサービス提供体制の整備 住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう、ニーズに応じた福祉サービス事業所等の新規参入や福祉人材の確保・育成を促進することにより、サービス提供体制の整備に取り組めます。
2.相談支援体制の充実 障害のある人が生活の身近な場で気軽に相談し、サービス等利用支援計画のもとに必要なサービスを適切に受けることができるよう、窓口となる施設の整備を含め、 <u>相談支援体制の充実</u> に取り組めます。
3.地域共生社会の実現・社会参加を支える取組 すべての人が、障害の有無にかかわらず相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するために、手話通訳、要約筆記、点訳、音訳などのコミュニケーション手段の普及をはじめ、市民に対する障害への理解の促進を図ります。また、積極的に社会参加できるよう、文化芸術やスポーツを含めた多様な活動機会を提供します。
4.障害者の就労支援の強化 障害者の就労意欲を後押しするため、 <u>障害福祉事業所や公共職業安定所等の関係機関と連携し、就労支援の体制を確保</u> するとともに、優先調達や工賃向上に取り組めます。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	第2期宇治市障害者福祉基本計画	2012年度～2023年度	福祉こども部 障害福祉課
2	第6期宇治市障害福祉計画・第2期宇治市障害児福祉計画	2021年度～2023年度	福祉こども部 障害福祉課

担当部署	福祉こども部障害福祉課
------	-------------

分野 16

市民が学び合う生涯学習社会の進展

1. 分野の目標(達成したい姿)

人生 100 年時代の到来に向け、豊かな人生を送ることができるよう、市民一人ひとりが生涯にわたっていきいきと学び合い、地域の発展に力を発揮する生涯学習環境が充実したまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	生涯学習講座の参加者数	1,487 人	12,000 人
2	人材バンク活用件数	16 件	65 件
3	蔵書更新率	5.2%	5.5%
4	図書館の利用しやすさ「満足」の回答数 (利用者アンケート)	53.0%	55.0%
5	青少年センターの利用者数	21,534 人	22,600 人

3. 現状と課題

市民が豊かな人生を送るため、市民の自主的、自発的な学習活動を促進するとともに、関係機関・団体等と連携を図りながら生涯学習のニーズに対応した多様な学習機会の提供を図る必要があります。また、様々な学習活動によって得た知識や成果を地域社会やまちづくり活動などに生かせるような仕組みや支援体制を整備する必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容
1.生涯学習推進体制の充実 関係機関・団体等と連携を図りながら生涯学習のニーズに対応するとともに、情報発信や市民の知識・技術・経験を社会に還元できる仕組みづくりを行います。

取組名及び取組内容	
2.生涯学習活動の推進と生涯学習環境の充実	市民一人ひとりが学びを通して豊かな人生を送ることができるよう講座の充実を図るとともに、学びの場としてより多くの市民に活用されるような生涯学習環境の整備に取り組みます。また、「自然とのふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、総合野外活動センターの体験活動と施設の充実に取り組みます。
3.ICT を活用した生涯学習環境の整備	インターネットやデジタルデータを活用した、いつでもどこでも誰でも様々な方法で学習ができる環境を整備します。また、ICT 機器を利用できる者と利用できない者の間に生じる情報格差(デジタルデバイド)の解消に努めます。
4.読書活動の推進	すべての子どもが生涯にわたる読書習慣を身につけることができるよう <u>家庭・学校・地域が連携した自主的な読書活動を促進する取組を進めます。</u> また、図書館では乳幼児から高齢者までのライフステージに応じた図書等の提供、図書展示、イベントなどにより、読書機会の提供と読書意欲の向上に取り組みます。
5.図書館の利便性向上と ICT 環境等の整備	誰もが図書館サービスを利用できるよう、図書館の利便性向上と非来館型サービスの充実に取り組めます。また、館内の収蔵スペースや読書環境、ICT 環境を整備し、紙媒体とデジタル媒体を組み合わせるハイブリッド図書館を目指します。
6.図書館サービスの充実	社会の変化や利用者のニーズに応じた図書館資料の収集・提供に努めます。また、読書や学習の機会を提供し、生涯にわたる読書活動や自発的な学習を支えとともに、信頼できる情報や文献を探し、案内・提供することにより、調査研究や課題解決を支援します。さらに、歴史・文化などに関する貴重な地域資料を長期的に保存し、次世代に継承します。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	第2次宇治市教育振興基本計画	2022年度～2033年度	教育部 教育総務課
2	宇治市子どもの読書活動推進計画(第三次推進計画)	2022年度～2033年度	教育部 生涯学習課
3	第2次宇治市図書館事業計画	2022年度～2025年度	教育委員会 中央図書館

担当部署	教育部生涯学習課、教育委員会中央図書館、東宇治図書館、西宇治図書館、善法青少年センター、河原青少年センター、大久保青少年センター
------	--

分野 17

スポーツを通じたまちづくりの推進

1. 分野の目標(達成したい姿)

市民が日々の生活の中に様々な形でスポーツを取り入れ、スポーツを楽しみ、スポーツを通じたつながりの中で、スポーツの可能性を活かした魅力的なまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	市主催等事業の参加者数	37,880 人 (H30)	41,000 人
2	成人で週 1 回以上スポーツをする人の割合	60.7% (R3)	65.0% スポーツ基本計画 目標

3. 現状と課題

スポーツを通じて、幼児から高齢者までのあらゆる世代が、ストレス・運動不足の解消、健康・体力づくり、友人・仲間との交流や家族との触れ合いなどに取り組んでいます。一方で、市が主催するスポーツイベントへの参加者数は年々減少しており、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、集団スポーツから個人でできるスポーツへの関心が高まっています。そのため、年齢や技術・体力に応じたスポーツを楽しむことができる軽スポーツ等の情報提供を進めていく必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容
1.スポーツの機会の提供 全ての市民がスポーツを楽しみ、スポーツに関わる機会を増やしていくため、 <u>様々な団体や分野との連携・協働</u> を行う中で、誰もが気軽にスポーツや身近な運動を楽しめる環境づくりに努めます。
2.関係団体等への支援・連携 市民・地域の自主的なスポーツ活動を促進するため、講習会の開催等を通じた指導者の育成やスポーツボランティアの育成など、スポーツ関係団体等への支援・連携を行います。
3.スポーツを通じた地域の活性化 地域のスポーツ団体等が行うイベントや活動への支援・連携等を通じて、 <u>地域内交流や地域間交流</u> をさらに活性化させ、スポーツで育むまちづくりの実現に努めます。
4.スポーツ情報の提供 スポーツに関する情報を効果的に提供するため、ターゲット層に応じた情報発信に努めます。また、安心してスポーツができるよう感染症対策などの情報についても提供します。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宇治市スポーツ推進計画	2022 年度～2033 年度	産業地域振興部 文化スポーツ課
2	宇治市健康づくり・食育推進計画	2015 年度～2024 年度	健康長寿部 健康づくり推進課
3	宇治市観光振興計画	2013 年度～2022 年度	産業地域振興部 観光振興課
4	第 2 次宇治市教育振興基本計画	2022 年度～2033 年度	教育部 教育総務課

担当部署	産業地域振興部文化スポーツ課
------	----------------

分野 18

個人を尊重する人権教育・啓発の推進

1. 分野の目標（達成したい姿）

市民一人ひとりが日常生活の中で、お互いの個性や価値観の違いを認め合い、人権を尊重するまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値(R2)	目標値(R7)
1	人権教育・啓発指導者養成研修修了者数	20 人	27 人
2	コミュニティワークうじ館・こはた館利用者数	35,114 人	35,775 人

3. 現状と課題

部落差別（同和問題）をはじめとする様々な人権問題に加えて、インターネットを介した人権問題や新型コロナウイルス感染症に関する人権問題など、人権問題が複雑多様化している中、人権尊重社会の実現を目指し、社会情勢や市民ニーズに合った広報啓発活動等に取り組む必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容
1.人権問題への理解促進 啓発講座等を開催するとともに、学校や地域などあらゆる場で人権教育・啓発を行い、人権尊重のまちづくりを推進します。
2.部落差別(同和問題)への理解促進 部落差別(同和問題)の解決に重要な役割を担ってきた隣保館(コミュニティワークうじ館・こはた館)を有効に活用し、人権啓発のための各種事業を推進します。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宇治市第 2 次人権教育・啓発推進計画	2016 年度～2025 年度	人権環境部 人権啓発課

担当部署	人権環境部人権啓発課、教育部生涯学習課、教育部教育支援課
------	------------------------------

分野 19

性別に関わらず活躍できる男女共同参画の推進

1. 分野の目標（達成したい姿）

市民・事業者等と協働して、地域に根ざした男女共同参画を推進し、性別にかかわらずいきいきと暮らすことができるまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
1	各種審議会等における女性委員の登用率	29.2%	40.0%
2	男女共同参画支援センター利用者数	27,377 人	53,561 人

3. 現状と課題

男女共同参画社会の実現は近年進みつつあるものの、性別による固定的な役割分担意識が未だ根強く残っています。そのため、男女がともに輝く社会の実現を目指し、積極的な広報啓発やワーク・ライフ・バランスの実現など、関係機関との連携・協働を一層促進し、地域に根差した男女共同参画を推進する必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容	
1.男女共同参画のまちづくり	固定的な性別イメージや男女間格差の解消、女性活躍等への支援を行うため、京都府等と連携した情報発信や学習機会の提供、市民・事業者等との協働を推進します。
2.男女共同参画支援センターの活用	女性の人権擁護や社会参画を支援するため、男女共同参画支援センターを有効に活用します。
3.男女共同参画視点での地域防災の推進	災害時、避難所で特定の人が我慢を強いられるようなことのないよう、男女共同参画の視点で地域防災の取組を行います。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	宇治市男女共同参画計画(第5次 UJI あさざりプラン)	2021 年度～2025 年度	人権環境部 男女共同参画課

担当部署	人権環境部男女共同参画課
------	--------------

分野 20

国際交流の推進と平和への貢献

1. 分野の目標（達成したい姿）

多様な文化や価値観を認め合い、支え合い、二度と戦争をしない・させない国際社会を実現し、交流が盛んに行われ、平和について考えるまちを目指します。

2. 成果指標

No	指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
1	友好都市等との市民間交流	推進	推進
2	平和啓発事業への参加者数	1,755 人	4,000 人

3. 現状と課題

戦争を体験した世代が年々減少する中、戦争の悲惨さを風化させることなく平和の尊さを後世に語り伝えていくため、若い世代の平和意識の醸成や啓発活動が重要です。また、国際交流が進む中、市民と外国人住民がお互いの文化や風習を取り入れ、安心して生活することができる環境を整備する必要があります。

4. 目標達成に向けた主な取組

取組名及び取組内容
1.国際交流の推進 オンラインなど新たな手法での交流に取り組むとともに、友好都市への中学生及び大学留学生の派遣を継続します。また、市民間の交流を推進する国際交流団体等への支援に取り組めます。
2.多文化共生の推進 市民と外国人との交流により、多様な文化や価値観への相互理解を促します。また、多文化共生社会に向けて在住外国人の実態把握に取り組めます。
3.平和に対する意識の醸成 平和の実践と市民意識の醸成のため、情報発信等により普及・啓発に取り組めます。また、「核兵器廃絶平和都市宣言」の精神のもと、平和への取組を進めます。

5. 関連する部門計画

No	計画名	計画期間	担当部署
1	第2期宇治市人口ビジョン／宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略	2020年度～2024年度	政策経営部 経営戦略課

担当部署	市長公室秘書広報課、総務部総務課
------	------------------